

【所属名：能生事務所 有線テレビ係】

【会議名：令和2年度第1回放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会】

会 議 録

作成日 令和2年8月6日

日	令和2年8月5日（水）	時間	13：50～15：30	場所	能生生涯学習センター 2階第1会議室
件名	議題(1) 施設運営（公開） ・令和2年度事業計画、予算概要について 議題(2) 番組審議（公開） ・令和2年7月22日～放送「ニューストピックス」について				
出席者	【出席者】 4名 放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会委員 吉田委員、岡田委員、齋藤委員、橋立委員 【事務局】 5名 総務部 五十嵐部長 能生事務所 土田事務所長、橋立係長、池亀主査、磯谷主査				
	傍聴者定員	— 人	傍聴者数	— 人	

会議要旨

<p>1 開会（13：50） 土田事務所長</p> <p>2 部長あいさつ 五十嵐総務部長</p> <p>3 会長あいさつ 吉田会長</p> <p>4 議事(1) 施設運営 ・令和2年度事業計画、予算概要について 【事務局】資料に基づき、令和2年度事業計画、予算概要について説明 【出席者】意見等 (事業計画について) 委員) 設備の更新は、機器の耐用年数に基づき定期的に行っているものか。 事務局) 自主ヘッドエンドについては、10年経過しているため更新したい。 3. 2G光送信機は17年が経過しており、更新が必要な時期に来ているため。 V-ONU（光電変換装置）についても17年が経過したことから、計画的に更新を進めており、全体の更新が終了するのは令和8年頃と見込んでいる。一度に全部を更新したいところだが、予算の関係で複数年度にわたり、計画的に更新していきたい。 事務局) V-ONUは老朽化が進み、昨年、一昨年あたり、悪天候などの影響を受けて故障が頻発した。一晩に60台くらい不具合が生じたこともあり、加入者にご迷惑をお掛けした。一度に全ての交換を行うことは難しいので、毎年度200台くらいを目途に予算を計上し、計画的に更新を図りたい。 回収した旧型のV-ONUについても、修理して使えるものは修理して不測の事態に備</p>

えていく。

委員) 更新が長期間に亘ると、先に更新したものがまた更新時期を迎え、絶えず更新を繰り返すことになるのではないか。

事務局) V-ONUの更新だけでなく、他の設備の更新も行っていかなければならないので、予算の都合上、一度に行うことができず、押しなべて更新して行く状況。

事務局) テレビの再送信が長時間止まってしまうと、総務省に報告しなければいけない。そういうことのないよう、機器や設備の維持管理を適正に行っていく必要があると考えている。

委員) 消費税改定や、設備更新に対応して使用料改定などの計画はあるか。

事務局) 昨年度消費税が改定されたが、今年度は使用料の値上げをせずに現状維持ということで予算編成を行った。しかし、機器の更新など将来を見据えた時に、使用料を見直ししていく時期になっていると考える。具体的な数字をお示しするまでの段階ではないが、部内で協議を進めているところである。

委員) 各公民館などからは、使用料を徴収しているか。

事務局) それぞれの会計から、使用料を予算計上し納入いただいている。

委員) 公民館などは、避難所の役割も持っており、情報収集・情報伝達のため、テレビ未加入の施設は今後の整備をどのように考えているか。

事務局) 公民館はほぼテレビ施設が整備されているが、体育館のほとんどはテレビを受信できる環境が整備されていないことから、今後、順次整備していく予定である。

各避難所の連絡体制については、基本的には、避難所担当職員や消防団員による連絡手段が一番と考えるが、携帯不感地域などでは、消防団の団無線も活用し、さらに今後の技術の進展によりどんなことができるか情報収集していきたい。

事務局) 昨年、能生生涯学習センターに避難所を開設した際、施設内は幸いテレビを設置できる環境であったが、学校体育館については視聴できる環境になかった。

また、生涯学習センターに避難している方の中にも、川の状況などを案じる声が聴かれ、ライブカメラの映像配信をリクエストされたが、情報収集のために人が危険にさらされることがないように、人命優先でご理解いただいた。今後は、動画に限らず、避難者の不安解消のためにどのような形が良いか模索していきたい。

5 議事(2) 番組審議

・令和2年7月22日～放送「ニューストピックス」について

【事務局】前回出された意見・要望に対する対応について報告

資料に基づき、ニューストピックスについて説明

【出席者】意見等

委員) 審議会で出された意見・要望を取り入れた番組作りに感謝。「変わったな」という印象を受ける。限られた職員の人数の中で、新しい取り組みをしてもらっている。

(能生地域グラウンドゴルフ大会のニュースについて)※投稿ビデオ

委員) プレー中の映像がほとんどだったが、開会式や表彰式の映像は撮らなかったのか。

事務局) 開会式の映像はあったが、コロナ対策として密にならないような隊形であったため、多少わかりづらかった。表彰式の映像は投稿映像の中にはなかった。

委員) 表彰式の映像を見たいと感じたが、元々(投稿映像に)ないのであれば理解した。

委員) 楽しそうな雰囲気が伝わってきた。

委員) 大会結果の文字テロップが大きく見やすかった。

事務局) 映像は、生涯学習系の職員が撮影しており、NCNの職員が撮影したものではない。投稿ビデオは、少ない人数の中、協力いただきありがたい。編集の際に映像の全てを確認しなければならないので、編集に時間がかかることもある。

委員) 取材・撮影について、他の係と分担や取り決めなどがあるのか。

事務局) 特に分担などはない。効率化を考え、事業やイベントに参加する職員に、ビデオ撮影を依頼している。その時に、撮影方法について若干レクチャーさせていただいている。

委員) 撮影機材はどうしているのか。

事務局) 手軽に扱える家庭用ビデオカメラを、投稿用貸出カメラとして備えている。

委員) NCN職員以外の撮影動画でも、違和感なく編集されている。撮影も編集もよくできていた。

(水難救助訓練のニュースについて)

委員) 前回の審議会で要望したドローン撮影の動画を取り入れており、非常に見ごたえがあった。水中訓練の様子がよく分かった。

委員) 市民の意識向上のための啓発を目的とした大がかりな訓練の映像で、心に迫るものを感じた。万が一に備えた訓練の様子を見ることで、事故防止の意識が高まった。

委員) 最後の消防署長の訓示の内容が素晴らしく、ニュース全体を引き締めた。

委員) 同じく。歯切れのよい署長の言葉が印象に残り、心強く感じた。

事務局) 糸魚川市消防本部は、海洋高校の潜水プールが身近にあり、訓練の環境に恵まれている。そういう環境の中で鍛錬された成果を、ご覧いただけたのではないかな。

委員) ドローン空撮動画を入れたことにより、酸素タンクのエアの動きから初めて潜水捜索訓練の様子を見ることができた。聞くよりも一見して理解できた。

(第3回糸魚川市議会臨時会のニュースについて)

委員) カメラの性能だと思うが、画質が残念である。

事務局) 市役所議場に設置しているアナログカメラの映像をもらっている。最近はややデジタル映像が主流であり、見慣れていないため、輪郭がぼやけていたり、鮮明でなかったりとストレスに感じると思う。

委員) 議会の映像は、ケーブルテレビだけで放送されているのか。

事務局) インターネット配信用に撮影しており、パソコンや携帯電話のような小さな画面サイズなら気にならない画質でも、テレビの大画面になると画質の粗さがはっきりわかってしまう。

委員) 議会全体がぼやけた印象になってしまうので、カメラの更新について予算の問題もあるだろうが検討いただきたい。

委員) 審議の内容などを、文字テロップで表示してもらえばわかりやすいのではないかな。

委員) 同じく、聞くだけではわかりづらいことがある。

事務局) 検討したい。

事務局) 今回は特に、新型コロナウイルス感染症対策として、発言者席にアクリル板を設置していたことで、なおさら見づらかったかもしれない。

(弁天岩あけぼの橋イルミネーション設置のニュースについて)

委員) きれいなイルミネーションを楽しめた。密を避けて、見に行かなくても 11 チャンネルの「地域情報チャンネル」でも見られるとナレーションがあり、画面で楽しんでいる。

委員) 橋のもとに立つ「恋する灯台」のボードが映るように、ライブカメラの角度を変えることはできないか。

事務局) ライブカメラは、現場に立つ電柱に設置しており、変えることができない。

(夏の交通事故防止運動呼びかけについて)

委員) 糸魚川警察署交通課長の呼びかけだったが、能生地域に勤務している警察官に出演してもらった方が、より親近感が湧くのではないか。転勤があるので、能生の署員の方を覚えられない。特殊詐欺などがある昨今、顔がわからないと訪問されても不安である。

事務局) 今年は特に、コロナ禍の中で、地区に出向いての交通安全講習会などが開催できないため、交通課長自らがテレビを通じ呼び掛けたいとの申し出があった。

皆さんからの意見は、糸魚川警察署に伝えるので色々聞かせていただきたい。

委員) 重点事項などはフリップを使ったことで、非常にわかりやすかった。

事務局) 放送したものは、糸魚川駅のデジタルサイネージでも流れた。

(能生小学校かがやきチャンネルについて)

委員) 子どもが撮影・企画したとは思えない出来栄であった。

委員) 今の子どもたちは、撮影機材や発信に興味があり憶する様子がない。

委員) 今回は小学生だったが、中学生が発信することはないか。

事務局) 能生小学校は、コロナ禍で授業参観やフウセンカズラの訪問活動など、地域の人たちとの交流や、学校生活を見ていただくことができないために、テレビを通じて発信する目的で番組制作を思いついたもの。事前に、NCNの放送センターを見学し、番組制作について学習を行った。

委員) 小学生は非常に堂々と発表していた。

委員) 今週放送のニュースでは、フウセンカズラの活動の一環として、子どもたちがそれぞれの担当地区のお年寄りに向けてメッセージを伝えており、お年寄りは楽しみに見ていると思う。

事務局) 中学生は、高校生や小学生に呼び掛けて、能生駅前であいさつ運動を行ったり、花いっぱい運動として、事業所や公共施設にプランターを置いたりするなど、小学生とはまた違った形で地域との交流や貢献をしており、これからもそういった活動をニューストピックスなどで紹介していきたい。

委員) ダンスの全国大会の会場がわからなかった。全国大会に向けた練習の様子も、映像であるとよかったのではないか。

事務局) 昨年暮れ、全国大会出場のニュースを紹介した時に会場や練習風景を紹介した。今回は寄付をいただいたお礼という形だったが、全国大会から半年以上経過していたので、お

っしやる通り、再度、紹介するべきだったかと思う。

(オープニング、エンディングについて)

委員) 能生海岸の美しさを改めて認識するドローン動画だった。

委員) パターンはまだあるのか。

事務局) 今後、季節に応じた素材を撮りだめて行く予定。

委員) ニュースだけでなく、コミュニティチャンネル全体が明るくなり、洗練されてきたという印象である。文字放送も含めて全体的にカラフルになり、好印象である。

そういう中で、今回のドローン動画のタイトルに「あれ?変わったな!」と感じた。

委員) ドローン動画は、タイトルだけでなく、糸魚川の自然や観光名所を長めに撮影し、番組として紹介すれば、気分が爽やかになると思う。川、権現岳や明星山の断崖などお願いしたい。

委員) エンディングの画面展開のスピードが速い気がした。

事務局) 委託業者と協議していく。

6 その他

委員) 以前から要望していた「健康体操」の、新しいバージョンを制作いただき感謝申し上げる。

事務局) 健康増進課と調整し、このあと「腰痛体操」も制作する見込み。

事務局) 今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な行事が中止になったり制限が掛かったりして、取材活動にも大きな影響があった。そんな中で、工夫しながらニュースや特集番組を制作してきた。

NCNは、加入者の皆さんからいただいた使用料で運営しており、機材の更新なども行いながら、地域の皆さまのご期待に応えられるような施設運営、番組作りに努めるので、引き続きご指導をよろしくお願いしたい。

委員) コロナ禍での、ネタ探しは大変だと想像する。

7 閉会 (15:30)